

## これまでの環境審議会における委員からの主な意見及び意見への対応

主な意見	意見への対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>家庭ごみの分別</u>について、分別大事典などのコンテンツを上手に活用すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 効果的な市民啓発と情報提供を行い、分別大事典のアプリ版や SNS 媒体の活用など、より多くの市民が情報にアクセスしやすくするようにすることなどを計画に記載。</li> <li>※分別大事典の簡易版を作成し、全戸配布予定。 ごみ出しマナーについても合わせて掲載する。</li> <li>※指定袋の外袋に分別大事典のアプリをダウンロードできる 2次元コードを入れたデザインに変更予定。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>事業系ごみの減量化・適正化の取り組み</u>について、ごみ出しのルール徹底などをもう一度見直していくべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集中的な事業所訪問や処理施設の搬入物チェックの強化などにより、ごみ出しルールの周知徹底や搬出・搬入の適正化に取り組むこと、適正なごみ処理手数料について検討していくことなど、様々な視点から取り組んでいく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>プラスチック製品の分別収集・リサイクル</u>について、国の検討状況を視野に入れ、積極的にやっていくことが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国と連携しながら、プラスチック製品の分別収集・リサイクルの先駆的な実施に向けた検討を進めることを計画に記載。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>食品ロス</u>について、学校でも給食などを通じて取り組んでいるが、学校と家庭を関連させた学習や指導をすべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画の取り組みの項目の一つに食品ロス削減対策を掲げ、その中で、学校教育のほか、消費者教育や子育て支援等との連携を強化することを記載。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>環境教育・学習</u>という柱を取り入れてはどうか。</li> <li>・ 子どもたちへの教育に関し、できるだけ早い段階から、成長過程に応じた一貫した教育が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画の視点に、「循環型社会形成に向けた地域全体の市民環境力の更なる発展」を新たに追加。</li> <li>・ 全ての世代へ環境教育に継続して取り組んでいくとともに、「就学前教育及び学校教育における環境教育」として成長過程にあった教育を推進し、一貫した環境教育の充実を図ることを記載。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>国際環境協力・ビジネス</u>の推進について、北九州の強みとしてもっと PR すべき。</li> <li>・ 今後、環境ビジネスのどこにターゲットを当てていくのか、ビジョンや戦略のようなものを記載すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際協力・ビジネス事業の具体事例や、プロジェクトの実績などを新たに記載。</li> <li>・ サーキュラー・エコノミーにおけるエコタウンの競争力強化など、環境産業・環境ビジネスの目指すビジョンを計画に記載。</li> </ul>